

理工ボート部 設備更新の 指針と計画について

2021年03月21日
OBOG幹事会 現役支援チーム

目次

1. 管理方針設定の目的
2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題
3. 設備更新の基本方針
4. 理工ボート部寄附金の利用目的定義と運用ルール定義
5. 現状の所有資産とリプレース計画
6. 新艇に関する市場動向
7. 今年度の活動状況と直近の課題
8. 新規設備導入計画案

1. 管理方針設定の目的

■ 目的

- ◆理工ボート部の現役所有資産であるボートやオール、エルゴなどの支援を、活動状況に応じてOBOG会から適切に行うための指針としたい。

■ 背景

- ◆理工ボート部の設備である艇やオールについて、近年は部員の増加に合わせて数量を増やしてきたが、長期的な視点で更新計画を立てることができていなかった。
- ◆一方OBOG会では現役支援費や寄附金などで、都度、基金を積み立てているものの、具体的な利用用途が明確になっていない状況。

■ 目指すところ

- ◆OBOGや関係者各位の了承の下で設備投資を行い、現役が滞りなく活動に打ち込める設備体制を維持させる。
- ◆学友会費・現役部費・OBOG支援費それぞれの連携を図る。

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

■艇

艇種	所有艇数	課題	備考
シェルフォア	2艇 (Filippi 1993年?) (理科大艇 1990年頃?)	・購入から20年以上経過しており、今後10~20年ほどで、経年劣化により使用できなくなることが予想される。	
ダブルスカル	1艇 (駿河 2016年)	・通常の活動では3艇ほど使用しており、残りはOB中本さんの所有艇と中杉艇を借艇している。	
シングルスカル	1→0→1艇	・購入から30年以上経過していた赤のデルタ艇は、経年劣化による浸水で使用不可となり、2021年に処分。 ・有光さんの研究艇は、2022年に正式に譲渡予定 ・残りは中杉艇を借艇している。	

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

■オール

種	所有数	購入・譲歩年	課題	備考
スカル オール	18セット (良:10セット) (可:4セット) (不可:4セット)	・2014年 4セット購入 ・2018年 仙台大より 10セット譲渡	消耗品のため、今後は試合用と練習用の使い分けなどを検討している。	
スweep オール	14本 (ウッドグリップ :8本) (ラバーグリップ :6本)	・2018年 仙台大より ラバーグリップのオール6本譲渡	現役の活動がスカル種目メインになっているため、現時点で困っていることはない。	

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

■エルゴ、ストロークコーチ、コックスボックス

種	所有数	購入・譲歩年	課題	備考
エルゴ	通常タイプ :2台 ダイナミックエルゴ:2台	・2013年 寄付金で1台購入 ・2017年～ダイナミックエルゴの借用 ・2019年寄付金で1台購入	2020年のコロナ禍より、校内での使用ができなくなっている。現在は、中大艇庫に移動して使用している。	(2017年より有光さん研究用のダイナミックエルゴ2台も校内でお借りしている)
ストロークコーチ	6個	・2015年以降(詳細確認)に随時購入	ボート界では、GPSを搭載したスピードコーチの使用が主流になってきている。	
COXボックス	1セット	・2019年に購入	・2014年に購入したが、故障により使用できなくなった。	

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

■ (※メール添付では、ドライブリンクをカットしております。)

自動保存 理工ボート部所有設備・備品管理表_20211120 検索 (Alt+Q) kajinchu.ysk@gmail.com

ファイル タッチ ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ 共有 コメント

元に戻す フォント(F): MS ゴシック フォント サイズ(F): 8 文字拡大 文字縮小 フォントの色

元に戻す フォント 手がき 編集 基本

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

1 理工ボート部所有設備・高額備品管理表

分類	項目	名称	数量	導入年月日	区分	導入元	価格 (新品相当)	状態	利用率	利用サイクル				
										1996	2011	2012	2	
1	自艇	付きフォア	1	1996/4	新規導入	Filipi 国内代理店	1,800,000	良	高 (4x+として利用)	★	△	△	△	
2	自艇	付きフォア	1	2019/11	中古導入	東京理科大学	1,800,000	一部破損有	低					
3	自艇	ダブルスカル	1	2016/6	新規導入	森野造船所	1,200,000	良	高					
4	借艇	ダブルスカル	1	2019/10	新規導入	森野造船所	1,600,000	良	高					
5	借艇	シングルスカル	1	2018/6	新規導入	デルタ造船所	800,000	良	高					
6	自艇	シングルスカル	1	2001/8	新規導入	デルタ造船所	800,000	不可 (浸水甚大)						
7	借艇	カオドルブルスカル	1		借用			良				△	△	
8	借艇	ダブルスカル	1		借用			良	高					
9	借艇	ダブルスカル	1		借用			良	低			○	○	
10	借艇	ダブルスカル	1		借用			良	低					
11	借艇	シングルスカル	1		借用			良	高			○	○	
12	借艇	シングルスカル	1		借用			良	高					△
13	借艇	シングルスカル	1		借用			良	中					
14	借艇	エイト	1		借用	チャン	5,000,000	良	低					
15	借艇	ナックルフォア	1		借用	CPRC	2,000,000	良	低					
16	オール	スカルオール	1		?		80,000	問題あり (日式のため形状が異なる)				○	○	
17	オール	スカルオール	1		?		80,000	問題あり (日式のため形状が異なる)				○	○	
18	オール	スカルオール	1		?		80,000	問題あり (日式のため形状が異なる)				△	△	
19	オール	スカルオール	1	2014/7	新規導入	longrange	80,000	良	高					
20	オール	スカルオール	1	2014/7	新規導入	longrange	80,000	良	高					
21	オール	スカルオール	1	2014/7	新規導入	longrange	80,000	可 (破損有)	高					
22	オール	スカルオール	1	2014/7	新規導入	longrange	80,000	可 (破損有)	高					
23	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					
24	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					
25	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					
26	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					
27	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	可 (破損有)	高					
28	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	可 (破損有)	高					
29	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					
30	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	可 (破損有)	高					
31	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	可 (破損有)	高					
32	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	可 (破損有)	高					
33	オール	スカルオール	1	2018/6	譲渡	仙台大学	80,000	良	高					

Sheet1 準備完了 100%

2.理工ボート部の活動に対する設備の課題

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
イベント	▼リスタート		▼50周年式典				▼OBOG年会費 値上げ			活動停止		
設備の購入 ・譲歩			▼エルゴ購入 ▼有光さんより エルゴ寄付	▼スカルオール 購入 ▼L板等の 備品購入 ▼コックスボックス 等購入		▼駿河購入		▼有光研究艇 ▼仙台大より オール譲渡		▼中本さん ダブル購入 ▼エルゴ購入 ▼コックスボックス購入		
主要設備に投資した 資金（単年）			15万	40万	10万	140万			25万			
主要設備に投資した 資金（通年）			15万	55万	65万	215万			250万			
状況	・理工の所有艇はシングルとフォアの1艇ずつで、ダブルスカルは中杉から借艇していた。				・部員の増加に伴って支出も増やし、必要設備については適宜購入した。				・休止期間を経て、可能な範囲での活動をしている。			
備考												

2. 理工ボート部の活動に対する設備の課題

■その他の設備課題

- ◆中大艇庫はキャパシティが決まっている。特に新艇を置く場所については、事前に中大ボート部と中杉を含めた調整と同意が必要。
- ◆理工ボート部の配備計画を、艇庫責任者である中大ボート部に対して説明することが重要。
- ◆学友会への資産登録申請が必要だが、これまでは正式に登録していない。どのような手続きが必要か確認が必要。

3.設備更新の基本方針

- ①設備それぞれに対して維持数量と利用期間の目安を設定
- ②利用率を考慮し、毎年リプレース計画を更新
- ③リプレース後の新艇・新オール・新エルゴの
購入候補を明確化
- ④追加設備について、総会で起案を行い、
OBOGの承認を持って購入をする。

3.設備更新の基本方針

■艇の維持数量と利用期間の目安

艇種	維持数量と 利用期間 の目安	リプレイス計画 案	新規購入に かかる費用 の目安	備考
シェルフォ ア	1艇 (現状2艇) 40年	・フィリッピ艇は、あと10年[良]の状態を維持して使用することを目標とする。リプレイスする方針で、艇の新規獲得に当たる。	300万円	
ダブルス カル	2艇 (現状1艇) 40年	・理科大フォアの処分後、ダブルスカルを1艇の新調を検討する(2027年頃)。	140万円	
シング ル スカル	1艇 (現状0艇) 40年	・2022年に有光艇を正式に譲渡予定 ・借用できる艇も多いため、追加購入の必要はないと現時点では考えている。	70万円	

3.設備更新の基本方針

■その他設備の利用期間とリプレース計画

艇種	維持数量と 利用期間の目安	リプレース計画 案	新規購入に かかる費用の 目安	備考
スカル オール	試合用8セット 練習用8セット (現状14セット) 20年	・状態良のオールが7本以下になった場合、新たに4セット新調する。(5年以内に必要な見通し)	7万5千円	・グリップ破損など起こった場合は、パーツ交換で対応する
スイープ オール	20～30年 試合用6セット 練習用4セット	・ラバーグリップの状態良のオールが5本以下になった場合、新たに2本新調する。	6万円	同上
エルゴ	2台(現状2台) 20年		15万円	
スピード コーチ	6個(現状6個) 10年		5万円	
コックス ボックス	1セット(現状1 セット) 10年		10万円	

3.設備更新の基本方針 更新例の年表

	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
イベント		▼60周年式典					▼65周年式典					
設備の購入・譲歩					▼理科大艇の利用期間終了 ▼ダブルスカルの新調						▼フォアの利用期間終了 ▼フォア新調	
		▼スピードコーチ 2つ新調	▼スカルオール 4セット新調					▼スピードコーチ 2つ新調	▼コックスボックス 新調			
使用資金 単年		10万	30万		140万			10万	10万			300万
使用資金 通年		10万	40万		180万			190万	200万			500万
備考	<p>資金はすべて新規購入の想定で計算しているが、出費はなるべく少なくしたいので、中古や譲歩の情報があれば積極的に活用していく。</p>											

4.理工ボート部寄附金の利用目的定義と運用ルール定義

- ・基本方針として、OBOG会寄付金は現役活動を支援する意図として、設備の更新のために限定して適用。
- ・現在は約148万円(2021.09.07 山下さんより)。
- ・現役との費用分担や配賦は、OBOG会50%を基本とする
要検討
- ・故障やレース前に艇が使えなくなった場合の、緊急性の利用については、OBOG幹事会で方針を相談して、OBOG会長の承認によって適用

5.新艇に関する市場動向

■艇の購入・譲歩の候補

購入先	特徴	懸念事項	備考
桑野造船 新艇	艇型の選択肢が多い。業者とのやりとりがしやすい。	少し高価	
桑野造船 中古	年に4回ほど更新される。安く中グレードが購入できる。	いつ、どんな艇が販売されるかわからない	
Filippi	ハイグレード	高価 購入ルートがわからない	
EMPACHER	最高グレード	最高価	桑野が代理店
日ボの中古艇・譲歩	タイミングが合えば、安値で入手できる	更新が不定期 艇のグレードが不明	
他団体からの譲歩	話をいただければ、最安値で入手できる	劣化している可能性が高い 関係性への影響も考慮が必要	

6.直近の課題と今年度の新規設備導入計画案

- ・現時点ですぐに必要な「設備」は特段ない
- ・今後必要となる設備の新調に向けて、資金の積み立てを行いたい。
- ・スカル艇を新調する場合、現時点で現役はWINTECHを希望。

以上

